すの題ま地補

夕張市議会だより

2008年8月1日 第2号 議会運営委員会

救

材

画出う画 たのイに め指ミ予 6 定ン定 月管グさ 議理セれ 会者ンる にヘタ再 おの一建 い補倒計 て助壊画 も金にの 計支伴計

定視し域助特変な対変本 例した医金に更ど策更来 療支、がのやで の決議の出国行緊市す9 主に会体の民わ急立が月 な臨と制議健れ対診 議 み し や 案 康 た 策 療 ス 3 決まて対は保。の所ウ月 事しも策、険 項たその中料 に。の課核の つ2重題病引 い回要が院き ての性浮の上 報臨・きあげ 告時緊彫り改 い会急り方定 `性にをと た し6をな含こ ま月問りめの

3 回 臨)時

観を「○ 光N北指 協Pの定 会〇零管 へ法年理 一人希者4 ゆ望の月 うの指23 ば杜定日 n _ _

口 フ正施 臨 (設 〕時 を虹設5 観ヶ置月会 光丘条22 施パ例日 設一の一

4

ク一〇

ゴ部観

ル改光

診セ屋予の○ 療ン工算提財へ 2 所タ事へ出政6 回 一と清と再月 定のス水関建19定 例 管解ウ沢連変日 理体イプす更く -者 `ミーる計27

運そと 営のし し後て て市の い民用 る団涂 体を で廃 継止

照4配共会な概名一 く月布施活お要の般 だくの設動、は議質 一告箇はしおし

へ市ンル補画日

の立グ上正書)

施黄一〇体支一〇民条〇水とタドミ設廃〇充補 設色部観系援部国間例養沢しーンン置止体実助 とい改光・制改民譲の護プてハベグ条と育 しリ正施限度正健渡廃老一のウーセ例清施 てボへ設度のへ康に止人ル用スズン制水設 のン宿設額導後保よへホの途の球タ定沢設 途の施条変と高条廃月ム置止育・のスト条 廃観設例更料齢例止1設)と施セ廃ウル例 清設ン止ィのの 止光「の一金者の一日置

を集所、いりたは 参(に公議。。4 \mathcal{O} 議会の役職、 議の開催状況、 例会・臨時議会の · 医院、 診療所· 医院、 (議員の質疑内 ふれあいサロン 常任委員会の 協議項目など。

い利廃ま換の夕等地連商ま機

`しる出話関を会`な小

図設空て人身し心と議道ど企

っなきい達やかのり所・に業

てど校きと夕けあなな国働基

いの舎た意張てるがど、き盤

き有やい見にい企らと夕か整

た効休。交縁く業立も張け備

6

答るとに

かのた

。 拡り

充

方促

針進

が措

あ置

てらの母

い積機子

き極会手

た的も帳

いに利発

と周用行

思知し時

うをなな 。 しがど

正 邦 明 員 質 間

答るののへ °用止たをあ張にに携工た構中弁 方よ誘1 針う致し なな活各 の方動種 か策を企 。で今業 進後等 めどへ

い道な業フ製開 ろやどにト造発市弁のそあ な国優限ウ業促に 制な遇りエ・進は 一度がなる。 一度がない。 一定がない。 一でが、 一で あもあ税の業あ張 るいる免3・資企

。除事ソ

。ろう

高 間 澄 子 質 問

答つ制金へ の受出 周領産 知委育 徹任児 底払一 にい時

島

 \mathbb{H}

達

彦

議

員

質

問

した被点のが件 て時保か負あの市弁 い度の1 いな険ら担つ受に るど者 `をた領お がにが対軽。代い 来象減被理て 今周庁とす保のは 後知さなる険申 ` もをれる観者請数

 $\overset{\mathbf{2}}{\circ}$

企

業

誘

致

促

進

寄弁

附

を

受

け

る

自

治

答か何とへ 開制ふ を納1 ア税シに度る ピ制市 **〕者長** ルにない運と す対ふて用納

るしる の、さ 配者へ にのこ つご紙 いみお て袋む のつ 無使

、業

料用

しが組てえ度必配 てらみいて導要慮高弁 布へ2 い引状る、入でし齢 くき況自道のはた者 続を治内趣あ行や き勘体で旨る政子 検案の実をが運育 討し取施踏、営て をなりしま制はに

討よ効市業今きい 答か現度ににへ しう果民も後続ハ現弁 °状に対沿2 のなしっつ 運つ活て納 用て用行税 でいで政者 よるきがの いかる市意 の。制民向

て、的ニ含はきン在 い今に一め行有カは く後活ズ行政効チ認 。も用を政が活基知 精で整ニ行用金度 査き理しうしをの

検るしズ事 、引高 き題願あえ市国そか項んい たのいるなのやのらもでく再弁なりつ政情付発繰1 い解しいが努道解、生い中建 いッて策、け言りに と決、はら力に決私じなで計 かトし方直求と返公 考を一ご協や対にとてい ` 画 え図つ支議状し向しく様当を てっ一援を況てけてる々初進 いてつを行を夕てはこな見め るい課おい伝張、、と事込て

えとのアの去し体ら我く体 るが心ピ現 `たとうがの側 必に一状福施異たマ自に 要訴ルな祉設なめチ治と でえしどなのる `を体っ あて、のど維、他選のてるい寄特、持老のん中は とく付徴夕、朽自でか 考こ者を張除化治もら多

答はメわの心裏のもへ 議

昌

ということ ということ があられた でもまっては でもまっては でもまっては でもまっては こはて市ると市何 とデ伝長 。は長度

詳 し < は 議 会 活 動 報 告 書 をご 覧 くだ